

ウクライナ 応援コンサート

指揮 小林研一郎

管弦楽 コバケンとその仲間たちオーケストラ

シベリウス: 交響詩フィンランディア

アイルランド民謡: ダニーボーイ

ラヴェル: ポレロ



ラヴェルの「ポレロ」は、スネアドラムの同じリズムが最初から最後まで反復し、二つだけのメロディーが楽器を変えながら繰り返され、徐々に音楽が大きくなっていく「世界一長いクレッシェンド」で最高潮に達します。コバケンさんは「皆さまの心のひだにまで届き、記憶に残り、これからのウクライナの助けになる感じがしました」と締めくくりました。

ロシアの侵攻が続くウクライナの人々に日本から音楽でエールを送ろうとコバケンさんが立ち上がりました。コバケンとその仲間たちオーケストラが、3月11日夜、池袋西口公園野外劇場・グローバルリングシアターで『ウクライナ応援コンサート』を開きました。YouTubeのライブ配信で視聴しました。会場は野外で立ち見、無料でした。形ある応援のためにと募金も集められました。



初めに、「ウクライナ国歌」を独唱したのは、ウクライナ出身で東京在住のソプラノ歌手、オクサーナ・ステパニウックさん、その歌声は力強く、会場を埋めた平和を願う多くの聴衆の胸に届いたと思います。このオケは、コバケンさんが率いるプロアマチュアの演奏家によって構成されています。

シベリウスの交響詩「フィンランディア」の「フィンランディア賛歌」の合唱に早稲グリと慶應ワグネルの現役・OBが参加しました。この曲は、帝政ロシアの圧政に苦しむフィンランド国民を勇気づけ、今ではフィンランド第二の国歌ともいわれています。

帝政ロシア政府が「フィンランディア」を演奏禁止処分にしたというのは有名な話として残っています。



驚くのは、このコンサートが企画されたのがつい一週間前だったことです。コバケンさんは、今この時にやらねばならぬと、豊島区長に掛け合い、オケや合唱団を集め、4~5日で本番に漕ぎつけました。ウクライナ国旗の青色は青空、黄色は麦畑です。一日も早く平和が訪れることを祈ります。



YouTube(豊島区のサイト)でアーカイブとして後日視聴できるようです。